



## 北海道広島県人会の設立によせて

北海道広島県人会

会長 前原 勝 (イオンモール(株)元監査役)

この度、記念すべき設立総会におきまして皆様からご承認頂き会長を拝命致しました。

上場企業の役員を定年退職し、千葉から北海道に移住して早4年がたちました。現在は自然あふれる富良野で日々人生を謳歌しております。このような立場にありながら、年の功にて初代会長の重責を与えられた事に、身の引き締まる思いをいたしております。

私は、広島修道大学の北海道支部同窓会を立ち上げ、支部長をしている関係から、毎年11月に行われる同窓会総会に参加するため故郷広島を訪問しています。

広島の町並みは、札幌の町並みと似かよった雰囲気があるように感じています。それはどちらの市街地にも路面電車が走り、バス路線が多く、地方銀行や都市銀行などの支店が多く、支店経済都市として繁栄し、単身赴任者や出張客相手の飲食店が多い為だと思います。

歴史的にみて、広島市は古くから中国地方において、ある面では日本の政治・経済・軍事・文化の要衝として、変遷を繰り返してきましたが、世界史上初の核兵器による被爆都市であり、世界的な国際平和文化都市として、平和市長会議には150を超える国から4600以上の自治体が加盟しています。

一方、札幌市は江戸時代、松前藩によって開かれた石狩十三場所の内、五場所が集中し、幕末までは蝦夷との交易が行われ、明治に入り北海道開拓使によって京都や米国のタウンシップ制をモデルとした碁盤目状の都市計画として開発され、発展してきた歴史があります。世界的に著名になったのは、1972年に開催された札幌冬季オリンピックだと思います。

私の見た映画の中では、「函館戦争」の革新的な精神や「北のゼロ年」等の艱難辛苦の開拓の精神に、また「北の国から」の物語の中で、自然と共生する生活に強く心をひかれています。

北海道、広島、どちらも大変魅力的であり、日本をそして世界をリードする素晴らしいエリアではないでしょうか。

本日、北海道広島県人会の発足にあたり、広島市に代表される「国際平和文化都市」が育んでいる、友愛と平和の精神のもとに、北海道の歴史的に意義の高い革新性や開拓の行動を通して、県人会の輪が広がり、相互の交流と親睦が深まることを願っています。

最後に、本日の記念パーティの為に、過分なるご協賛を頂いた企業の方々、並びに快く会場をお貸し頂きました、札幌グランドホテルの皆様、通常の業務をしながら、ご尽力頂きました当会の各役員の皆様、そして参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。